

DREAM BIGGER

Agilent Intuvo 9000 GC システム

ニーズに応える技術革新

真の変革をもたらす技術革新は、画期的なアイデアの実現にとどまらず、これまでの常識を覆すような変化をお客様に提供するものだと思われがちです。

インテリジェント、直感的、革新的。それが Intuvo。

現代の GC ラボは、目の前にある問題を効率よく短時間で解決しなければならないというプレッシャーに常にさらされています。分析困難なサンプルマトリックスの取り扱い、重要なデータの完全性の確保、分析者の技術向上など、課題への対応次第では時間およびリソースの大きな浪費につながりかねません。

Intuvo は、こうした課題を今までになかった考え方やアプローチで解決し、ラボ運営にかかわるすべての方に大きな利点をもたらします。



世界中の分析ラボをサポート

アジレントが 50 年以上にわたって先導してきた分析技術と手法は、現在のガスクロマトグラフィーの基盤を作ってきました。今後も歩みを止めることなく、ガスクロマトグラフィーの可能性を広げています。

詳細については、次をご覧ください。

www.agilent.co.jp/chem/intuvo



Agilent Technologies

質量分析計にも最適なガスクロマトグラフ

Intuvo では、これまでの操作上の煩わしさが軽減され、ワークフロー、効率、成果を大きく改善することができます。

Intuvo なら、ラボの新たな可能性が広がります。

最大限の性能

あらゆる GC 検出器およびシングル/トリプル四重極質量分析で最大限の性能を実現。

生産性

すべての Agilent GC サンプル導入システムとの組み合わせで、優れた生産性を実現。

直感的

タッチスクリーンユーザーインターフェースが、装置の重要なステータス情報を表示。

高度なソフトウェアによるコントロール

Intuvo はまったく新しい GC システムながら、新たなトレーニングは不要。使い慣れたアジレントの OpenLAB CDS および MassHunter をそのまま使用できます。

サービスとサポート

Intuvo のリモートアドバイザー機能では、重要な性能パラメータに関するデータと情報を、Intuvo のステータスレポートで提供。例えば機器の有効性を最適化し稼働時間を最大にする機器の構成、カラム注入の回数、エラー履歴などを提供します。



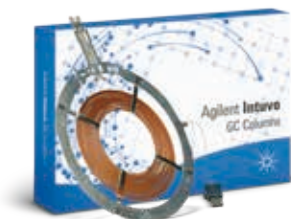
Intuvo では、今までにない消耗品とフィッティングを実現。所有と操作の両面で最も効果的でコスト効率が高い最高の GC です。専用にデザインされた消耗品には、GC 体験に変革をもたらすフェラルフリーフィッティング、Guard Chip リテンションギャップ技術、トリミング不要カラムなどがあります。



Intuvo のフローチップには、自己設定、使用状況のモニタリング、メソッドの自動開発用のスマートキーが搭載されています。



Intuvo のガスケットは従来のフェラルと異なり、Intuvo の不活性な流路のコンポーネント間にリークのないシールを提供しています。

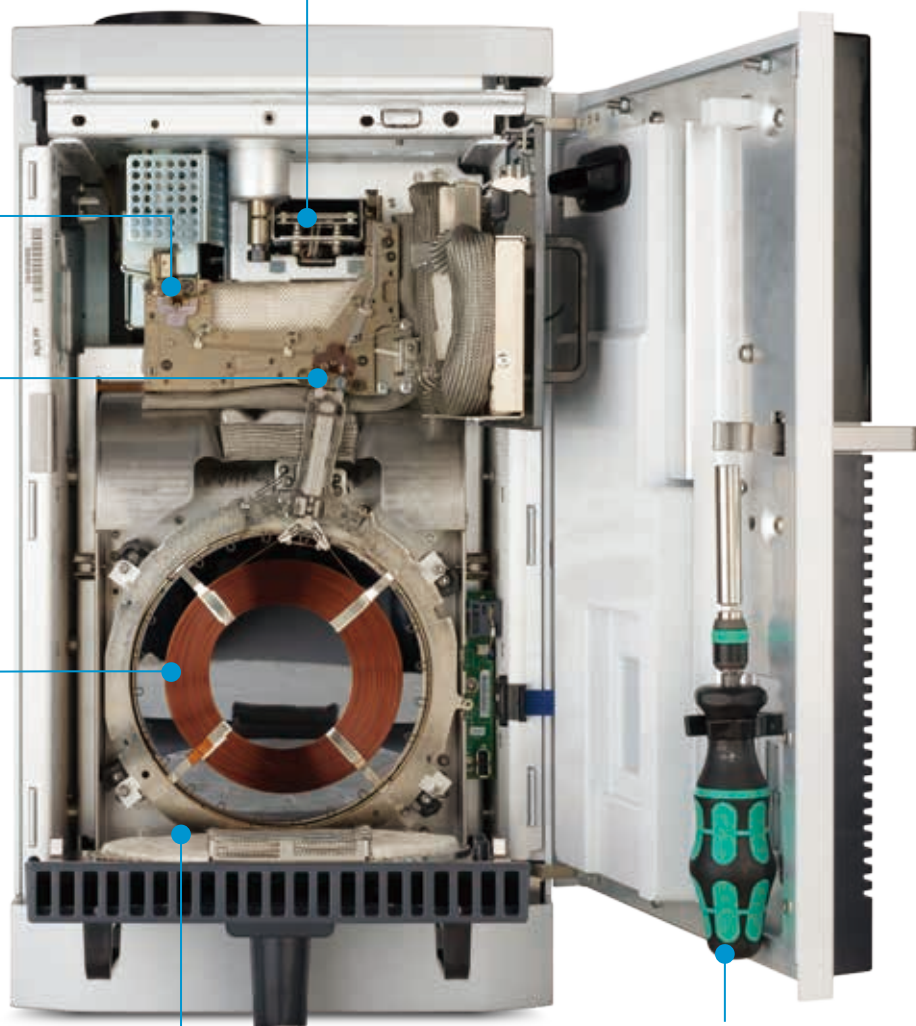


Intuvo のカラムは革新的な形状で実績のある化学物質によってコーティングされています。スマートキーが搭載され、迅速に識別し使用状況をモニタリングできます。

ダイレクトカラムヒーティングは、分析時間の短縮と生産性の向上を従来のオープン型の半分の設置面積で実現します。



Guard Chip はすばやく交換できます。面倒なカラムのトリミングやそれに伴うダウンタイムは過去のものになります。



専用のトルクドライバで、リークのない接続によりすばやくカラムを設置します。



「見えない価値」を「目に見える成果」へ

Agilent CrossLab は、Agilent CrossLab 移行サービスおよび Agilent University など稼働時間を最大化し投資を保護する包括的なサポートサービスを提供しています。



高度なソフトウェアによるコントロール

Intuvo はまったく新しい GC システムですが、新たなトレーニングは不要です。使い慣れたアジレントの OpenLAB CDS および MassHunter をそのまま使用できます。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタマコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。アジレントは、本文書に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2016

Printed in Japan, August 22, 2016

5991-7313JAJP



Agilent Technologies